接続のしかた

くわしくは、取扱説明書をごらんください。

ステレオまたはパソコンから録音するとき

アンプ内蔵のスピーカー

LINE OUT (L) (R)

LINE OUT 端子へ

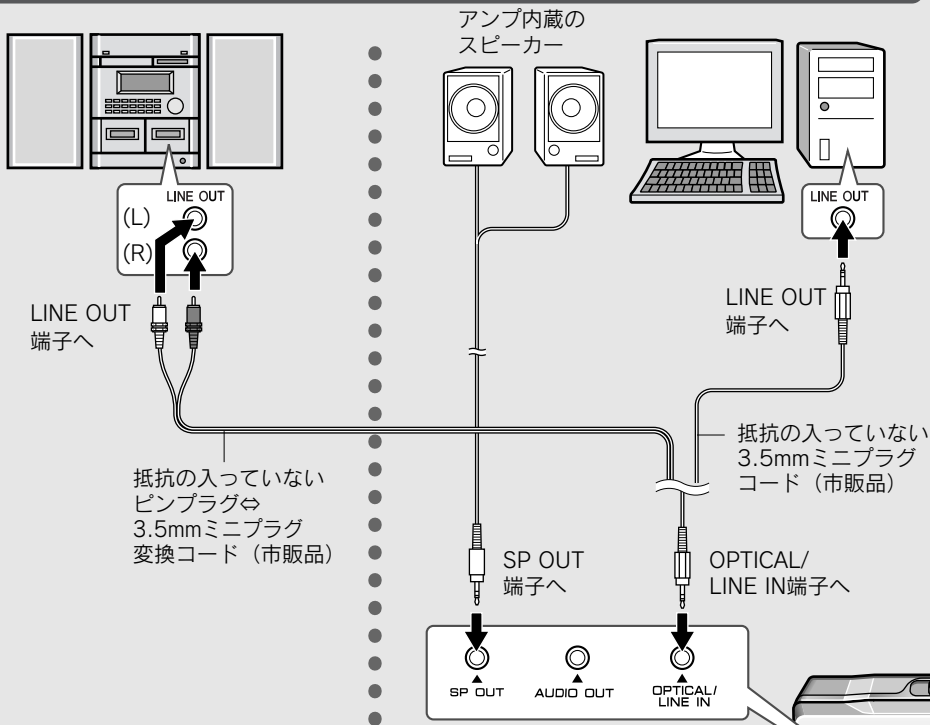
LINE OUT 端子へ

抵抗の入っていない3.5mmミニプラグコード（市販品）

抵抗の入っていないピンプラグ⇔3.5mmミニプラグ変換コード（市販品）

SP OUT 端子へ

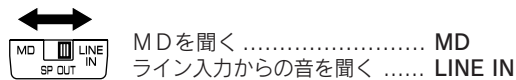
OPTICAL/LINE IN端子へ

SP OUT　AUDIO OUT　OPTICAL/LINE IN

"LINE MONI（ライン モニター）" の設定について

パソコンの入出力を同時につないでいるときは、"LINE MONI" の設定を "OFF（オフ）" にしてハウリングを防止することをおすすめします。
くわしくは、取扱説明書の90ページをごらんください。

スピーカ出力切り換えスイッチについて

充電スタンドに接続したスピーカから出力される音を切り換える時に使います。

MDを聞く .... MD
ライン入力からの音を聞く ...... LINE IN

Net MDをするとき（音楽データの転送）

「Mulia」をセットアップする。

USBコード（付属品）

USB 端子へ

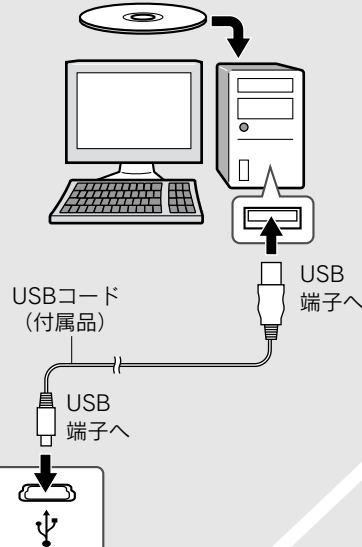
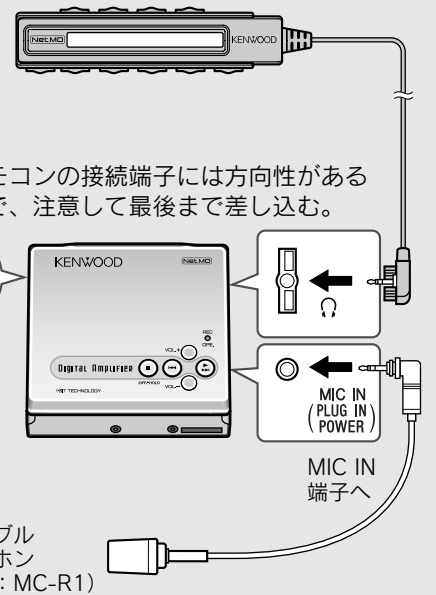
USB 端子へ

マイクから録音するとき（屋外）

（リモコンで操作する）

リモコンの接続端子には方向性があるので、注意して最後まで差し込む。

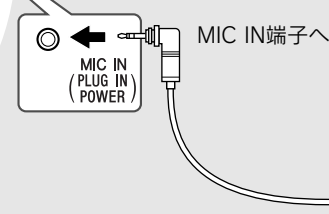
充電池を入れて！

MIC IN 端子へ

ステレオフレキシブルマイクロホン（別売品：MC-R1）

充電スタンドに置くと、リモコンと本体では操作できません。

マイクから録音するとき（屋内）

（充電スタンドで操作する）

MIC IN端子へ

ステレオフレキシブルマイクロホン（別売品：MC-R1）

録音のしかた

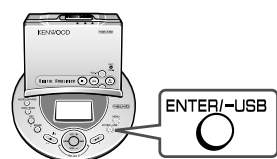
ステレオまたはパソコンから録音するとき

（充電スタンドでの操作）

1. REC を押す。
2. 接続した機器を再生する。
3. ⏮（ ）⏭を押して、録音レベルを調整する。
   裏面もごらんください。
4. 接続した機器を再生の一時停止状態にする。
   （曲の頭出しをしておく）
5. ⏯を押す。
6. 接続した機器を再生すると、録音が始まります。

Net MDをするとき（音楽データの転送）

（充電スタンドでの操作）

1. ENTER/−USB を２秒以上押す。

本体の取扱説明書107ページもごらんください。

2. 「Mulia」を起動する。
3. 音楽データをMDに転送（チェックアウト）する。

マイクから録音するとき（屋内）

（充電スタンドでの操作）

1. REC を押す。
2. MENU を押す。
3. ⏮（ ）⏭を押して "MIC LEVEL（マイク レベル）" を選び、ENTER/−USB を押す。
4. ⏮（ ）⏭を押して、"ALC-H"、"ALC-L"、"MANUAL" を選び、ENTER/−USB を押す。
   裏面もごらんください。
5. ⏯を押す。

マイクから録音するとき（屋外）

（リモコンでの操作）

1. REC を押す。
2. MENU を押す。
3. ⏮または⏭を押して "MIC Level（マイク レベル）" を選び、⏯を押す。
4. ⏮または⏭を押して、"ALC-H"、"ALC-L"、"MANUAL" を選び、⏯を押す。
   裏面もごらんください。
5. ⏯を押す。

ホールドについて

〈本体操作〉 ■（OFF/−HOLD）を２秒以上押す。押すたびに切り換わります。

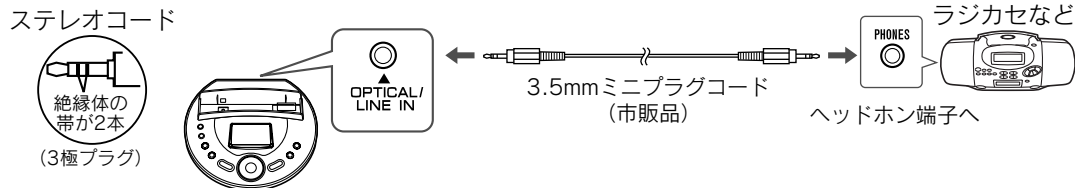
ホールド設定：録音ランプが３回点滅
ホールド解除：録音ランプが１回点滅

〈リモコン操作〉 HOLDスイッチを切り換える。

オレンジ色
HOLD ← ホールド設定　HOLD → ホールド解除

知っておくと役に立つ　ワンポイントアドバイス集

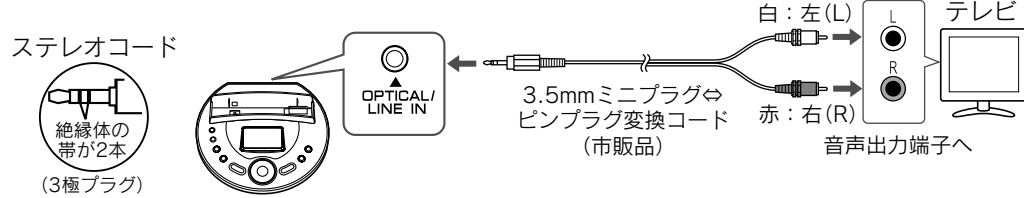
音声出力端子（LINE OUT/AUX OUT/REC OUT など）のついていないラジカセやステレオなどから録音したいのですが…

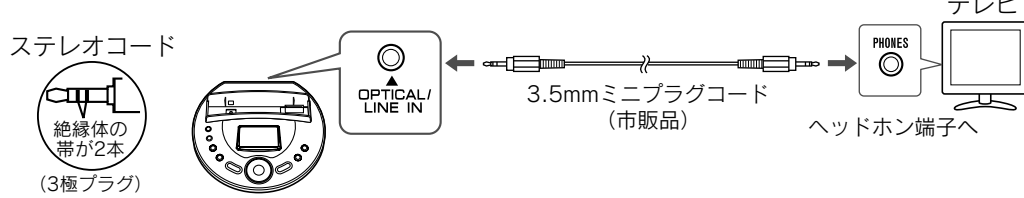
ヘッドホン端子をご利用になると録音できます。
接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

録音はアナログ録音になります。録音をするときは、録音レベルの調整が必要です。

テレビの音声を録音したいのですが…

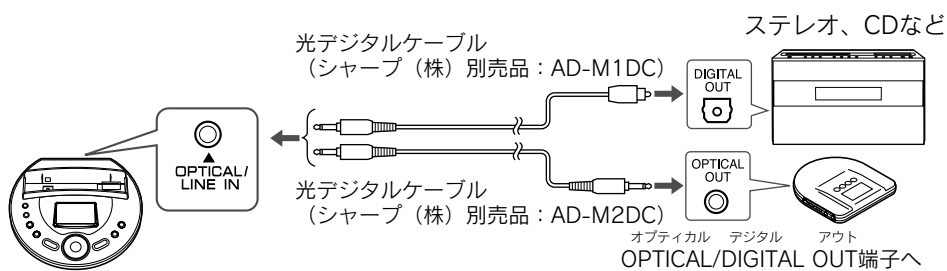
お手持ちのテレビについている出力端子の形状を確かめて、次のように接続してください。

〈音声出力端子から録音するとき〉

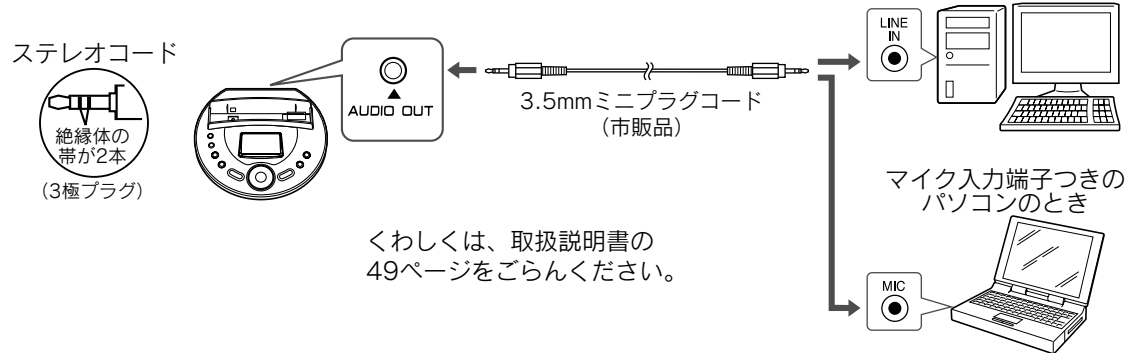
接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

〈ヘッドホン端子から録音するとき〉

接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

上記の接続は､いずれもアナログ録音になります｡録音をするときは､録音レベルの調整が必要です。

光デジタル端子から録音したいのですが…

光デジタル端子のある機器に､光デジタルケーブル(シャープ(株)別売品のAD-M1DCやAD-M2DC)で接続すると、アナログ録音に比べて高音質での録音ができます。

パソコンやステレオにつないでMDの音声を録音/再生したいのですが…

〈3.5mm ミニプラグの入力端子つきのパソコンのとき〉

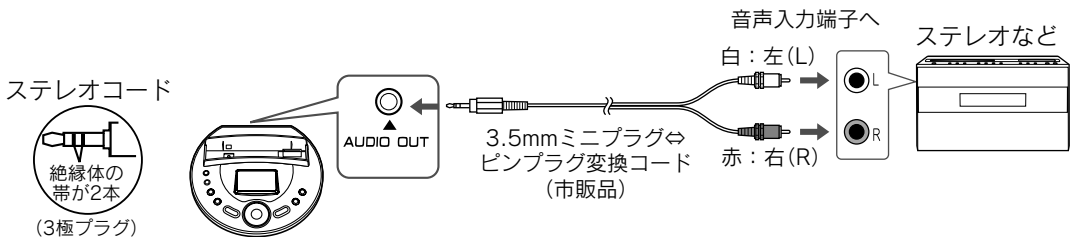
接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

〈音声入力端子つきのとき〉

接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

接続するマイクについて

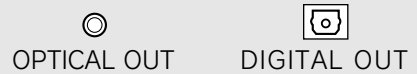
- マイクは、プラグインパワー方式に対応したものであれば、市販のステレオマイクも使用できます。
- プラグインパワー方式に対応していないマイクを接続すると、正しく動作しなかったり、故障の原因となります。

プラグインパワー方式に対応したマイクとは

マイクには、動作用の電源を必要とするものと、必要としないものがあります。
電源を必要とするマイクの中には、電池を内蔵するものと、本体から電源が供給されるものがあります。
本体から電源が供給されることによって動作するマイクを､プラグインパワー方式対応のマイクと言います。

■ デジタル録音とアナログ録音について

デジタル録音とアナログ録音には次のような違いがあります。

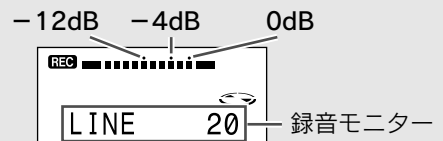
デジタル録音

CDやMDなどのデジタル信号を、デジタルのまま録音する方法です。アナログ録音に比べて、高音質での録音ができます。

アナログ録音

ステレオやラジカセなどのオーディオ機器での再生音（アナログ信号）を録音する方法です。

PHONES
ヘッドホン端子

■ 録音レベルの調整

最も大きなレベルのとき、－4dBから0dBの間に振れるように調整します。

録音レベルを調整すると、目安として録音モニターが表示されます。

＜デジタルケーブルを接続したとき＞

録音モニターは、D.L.－10dB～D.L.＋10dB を表示します。

- CDから録音するときは、“**D.L. 0dB**” に、CSチューナーなどから録音するときは、“**D.L. +8dB**” を目安に設定してください。

＜アナログケーブルを接続したとき＞

録音モニターは、LINE（ライン） 0 ～ LINE（ライン） 30 を表示します。

- 外部機器のヘッドホン端子から録音するときは、再生する外部機器の音量を音が歪まないように出力を調整し、そのあと、本機の録音レベルを調整してください。

＜マイクを接続したとき＞

メニューから “**ALC-H**” または “**ALC-L**” を選択すると自動でレベル調整が行われます。最も大きなレベルのとき、－ 4dB から 0dB の間に振れるほうを選んでください。

“MANUAL（マニュアル）” を選択すると手動で調整することもできます。
録音モニターは、MIC（マイク） L 00 ～ MIC（マイク） H 30 を表示します。
録音するときの録音レベルが小さすぎると、再生しても音が出ないことがあります。

■ 長時間録音された MD について

LP2(2倍長時間録音)、LP4(4倍長時間録音)で 録音された曲は､長時間再生に対応していない機器では､再生できません。MDLP 対応の機器で再生してください。または、SP(ステレオ録音)で録音した MD を再生してください。

■ 抵抗入りの接続コードについて

抵抗の入っている接続コードを使って録音すると、音が小さくなります。
抵抗の入っていない接続コードを使ってください。

■ 1 ビット専用のヘッドホンプラグについて

1 ビットアンプ専用のヘッドホンプラグは、通常のヘッドホンのプラグと端子の形状がちがいます。

1ビットアンプ用	通常のステレオ用	モノラル用
絶縁体の帯が3本（4極プラグ）	絶縁体の帯が2本（3極プラグ）	絶縁体の帯が1本（2極プラグ）

1ビットデジタルアンプは､ヘッドホンへのケーブルをプラス側とマイナス側それぞれ左右独立分離することで、相互の信号の影響による音質劣化を最小限とする、高音質設計のフルブリッジ方式を採用しています。

付属の4極プラグ（絶縁体の帯が3本）
市販の3極プラグ（絶縁体の帯が2本）

付属の４極プラグヘッドホンは、１ビットポータブルMD専用です。1ビットデジタルアンプの高精細なサウンドをお楽しみください。

マイナス側を左右で共有している市販の3極プラグヘッドホンでは､方式の違いから本来の高音質を十分に発揮できません。

また、付属のヘッドホンを他の機器で使用すると、片チャンネルしか聞こえない場合があります。